

ざっとな



本日の
立ち寄りスポットの
ご紹介です♡

神武寺 (天台宗)

医王山神武寺。724年、聖武天皇の勅願により行基が創建したと伝えられます。元は女人禁制の修験道の寺でした。1184年に頼朝が文覚を呼び寄せ、多くの学僧を養成する修験道場にしました。吾妻鏡によると、1209年に源実朝が神武寺を訪れています。のちに堂宇を修復し、山林を寄進したそうです。

薬師如来と脇侍の日光・月光菩薩は
今年が33年ぶりの御開帳!!

今でも修験道場の雰囲気
色濃く残す古刹です

鐙摺不整合

県指定の地層。三浦半島で最も古い2千5百万年の葉山層群の上に千5百万年前の逗子層が不整合の状態に形成されています。海底からの地殻変動によって押し上げられた葉山層が1千万年もの間、風雨にさらされ浸食され、再び地殻変動が起こって海中に沈み、その上に逗子層が堆積しました。

延命寺 (真言宗)

黄雲山延命寺。行基創建と伝わります。鎌倉時代以降は三浦一族が修復し、祈願所としました。三浦氏滅亡後は後北条氏の帰依を受けました。境内には三浦道香の墓があります。

三浦道寸義同の弟の道香は
逗子市小坪にある住吉城を
守っていましたが、北条早雲に
攻められて落城してしまいました。

なんと!!

源頼朝はここに恋人を
住まわせていましたよ!!

鐙摺城

標高25mほどの小丘。軍見山、旗立山などと呼ばれています。三浦半島の手口の岩に位置する城です。小坪合戦の際に三浦義澄がこの城に籠城したと言われています。その後も、大多和義久などの三浦一族が守っていました。

戦国時代にも三浦氏の
城となり、三崎の新井城と
連携していました。

六代御前不動院

平家最後の直系嫡子である六代御前のお墓があります。田越川畔で処刑されたとされています。その六代御前の菩提を弔うために遺臣達が堂を建てたと伝わっています。田越川は刑場であったため、御最期川とも呼ばれています。

平正盛 - 忠盛 - 清盛 - 重盛 - 維盛 - 六代御前

吾妻鏡によくと

平家が壇ノ浦で滅んだとき、六代御前は、母とともに身を隠しましたが、平家狩りにより、捕えられてしまいました。その後、頼朝から鎌倉に留まることを許されましたが、頼朝の死後、謀反の疑いで処刑されました。

桜山古墳

逗子葉山にまたがる100m超の山にある地元の考古学愛好家が発見した古墳です。埴輪欠片を発見したのがきっかけ。発掘により、2基の前方後円墳があることが確認されました。国指定史跡。2基とも4世紀前半のもので、ほぼ完全な形で残っています。墓主は三浦半島を統括する首長とみられ、自領を見下ろす眺望のいい場所に葬られたのだと思われます。